

公用文をやさしくするために

岩田一成

聖心女子大学(台湾銘傳大学)

1, はじめに 国語に関する世論調査

文化庁(2017)『平成29年度「国語に関する世論調査」の結果について』

「官公庁などが示す文書で読むことがあるもの」は何ですか？

1. 読むことはない 43.6%
2. 官公庁が発行した広報紙等
3. 官公庁が作ったチラシやポスター
4. 官公庁から出る通達や通知文
5. 官公庁のホームページ

半分弱の人は、
公用文を
読んでいない。

2 やさしい日本語の広がり

- 2019年 入国管理庁

『生活・仕事ガイドブック』(やさしい日本語版)を公開

- 2019年 外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議

『外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(改訂)』

→「やさしい日本語」の活用 を明記

- 2019～20年 出入国在留管理庁と文化庁が共同

『在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン』を作成



在留支援のための
やさしい日本語ガイドライン
2020年8月



出入国在留管理庁
文化庁

在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン

出入国管理庁・文化庁(2020)

第2章 在留支援のためのやさしい日本語 ガイドライン

(1)このガイドラインの目的	・・・5ページ
(2)在留支援のためのやさしい日本語の作り方のポイント	・・・6ページ
▶ ステップ① 日本人にわかりやすい文章	・・・7ページ
・情報を整理する	・・・7ページ
・文をわかりやすくする(1)	・・・8ページ
・外来語に気を付ける	・・・8ページ
▶ ステップ② 外国人にもわかりやすい文章	・・・9ページ
・文をわかりやすくする(2)	・・・9ページ
・言葉に気を付ける	・・・9ページ
・表記に気を付ける	・・・10ページ
▶ ステップ③ わかりやすさの確認	・・・10ページ

1952年『公用文作成の要領』

⇒2022年『公用文作成の考え方』

ポイント(岩田の独断と偏見)

- ・読者の多様化⇒やさしい日本語の記述
- ・「公用文と法令における表記の一体化」の緩和（受入れ→受け入れ）
- ・専門用語や外来語の対応
- ・公用文は義務教育修了者が読めること
- ・公用文は表記・用語に注目されてきた

(2021年『新しい「公用文作成の要領」に向けて(報告)』「現行の要領で主な対象となっているのは表記や用語の問題である(2)」)

3, 談話レベルの問題として公用文を捉える

- 語彙だけ書きかえても読みやすくはならない



悪文にはパターンがあります

人間(書き手)が対応 ・わかりにくさのパターンを考える

公用文を語るとき(**語彙**)に目がいきがち

⇒しかし本質は(**談話レベル**)の問題

(『読み手に伝わる公用文——<やさしい日本語>の視点から』大修館書店)

- ① 分量が多い
- ② 間接的な説明: 抽象的な言い回し
- ③ 法律文の借用: 硬いお知らせ
- ④ 整理整頓不全

4, 公用文のジャンル(岩田2022予定A)

広義社会保障系グループ: 読み手が自発的に情報を取りに来て動くもの

サブジャンル 対象者指定の行政サービス(出産・育児・教育関係、高齢者・障害がある人対象など)、住宅関連、各種相談、医療・検診、その他補助金など。

具体例 出産一時金の支給、保育園の申し込み、児童手当・・・

情報提供系グループ: 読み手に必要な情報を伝えるもの

サブジャンル 用語解説・制度説明、ローカル情報の提示、行政報告、イベント告知、募集など。

具体例 税の知識、コミュニティバスのダイヤ改正、環境報告・・・

行為要請系グループ: 書き手が読み手に対して(時に強制的に)行動させるもの

サブジャンル 届け出・手続き、注意喚起、依頼・協力要請など。

具体例 市税の納付、熱中症に気を付けて、〇〇ボランティア募集・・・

5, 公用文がやさしくならないのはなぜ？ (岩田2019)

主張は以下の4点である。

- ①読者の読解力の想定が高めになりやすいこと
- ②公用文の内容によってはわかりやすさが事務コスト増につながることに
- ③わかりやすさは配慮表現(ポライトネス)と対立すること
- ④わかりやすさは正確さと対立すること。

⇒職員研修で伝える

6, 国や自治体が必要な取り組み (岩田2022予定B)

- ① わかりやすさを支持する言語政策
法律や罰則規定
- ② 文章の難易度を数値化した尺度の制定
アメリカのFRE
- ③ 国民の読解能力の把握
機能的非識字者の数 1955年が最後
- ④ 独立した文章チェック機関の設置
アメリカやドイツ 政府内の別組織

6, 国や自治体が必要な取り組み (岩田2022予定B)

- ① わかりやすさを支持する言語政策
法律や罰則規定
- ② 文章の難易度を数値化した尺度の制定
アメリカのFRE
- ③ 国民の読解能力の把握
機能的非識字者の数 1955年が最後
- ④ 独立した文章チェック機関の設置
アメリカやドイツ 政府内の別組織

7, 文名詞密度の提案

文中の名詞数を数えると文章の硬さが測定できる(岩田2020)

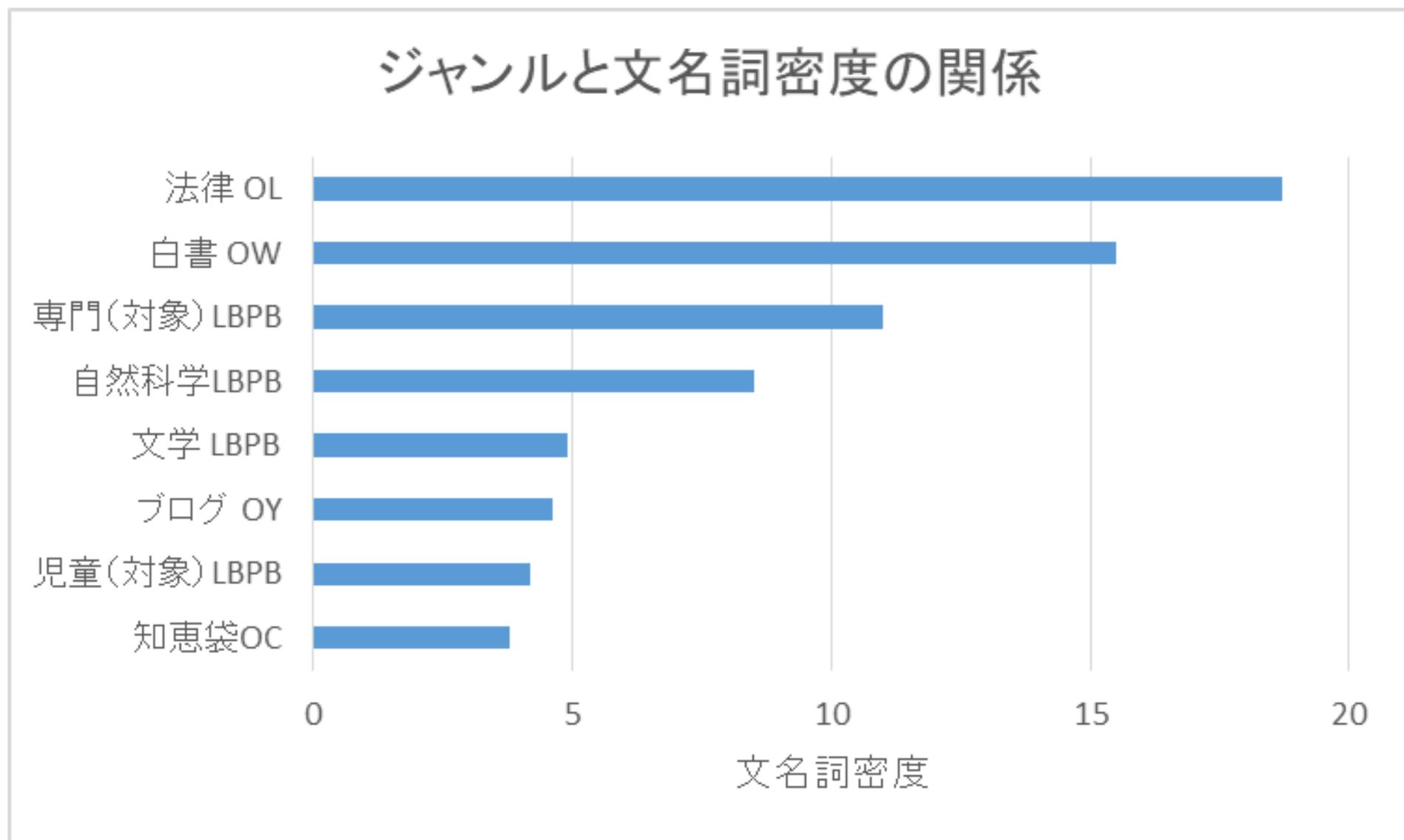
A文名詞密度の低い例文 (名詞が6で文が2なので文名詞密度3)

- クヌギの木は秋になると、葉が落ちて積もります。／そこでカブトムシが卵を産みます。

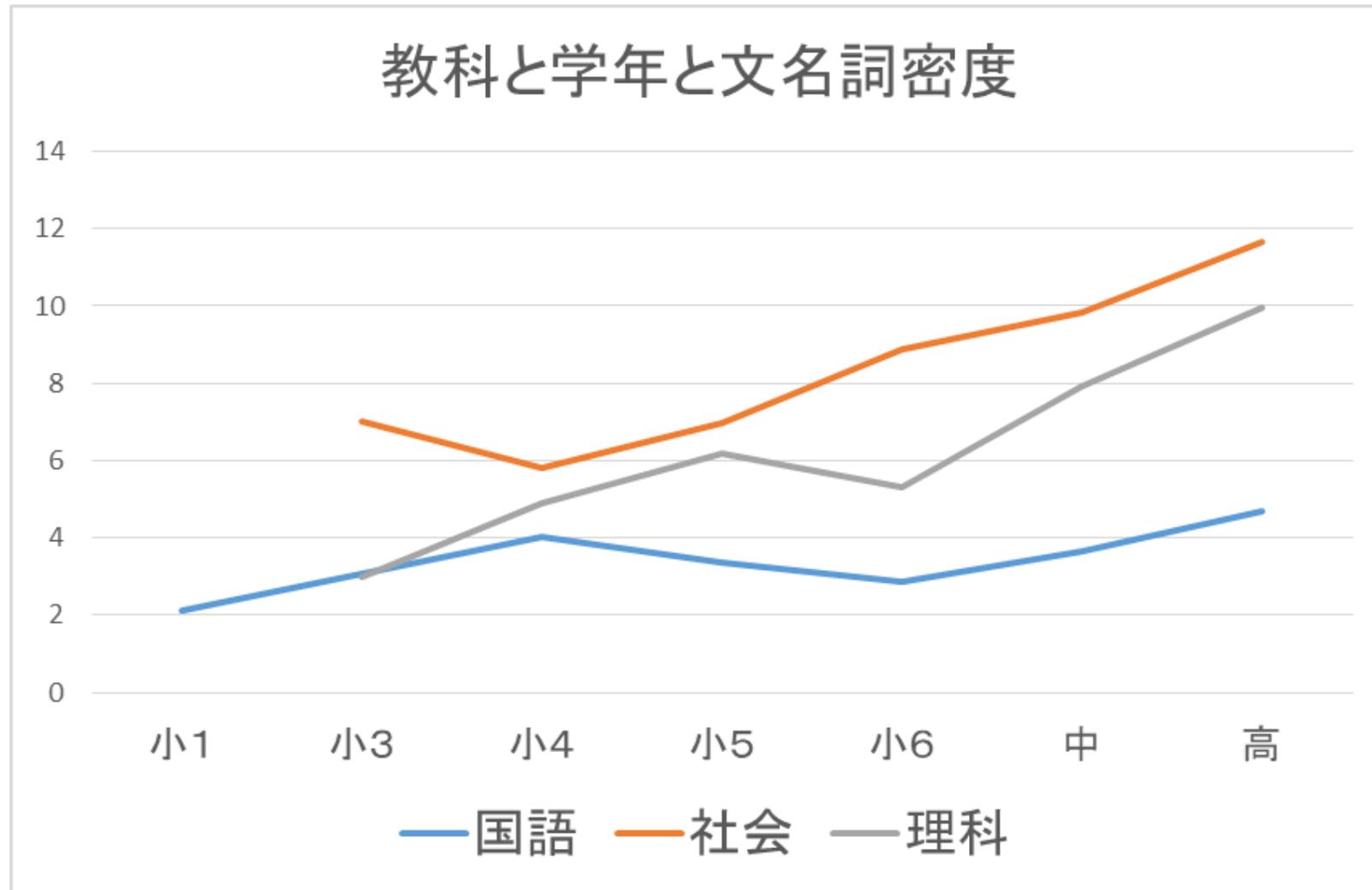
B文名詞密度の高い例文 (名詞が9で文が1なので文名詞密度9)

- クヌギの木は秋、落ち葉が堆積することでカブトムシの産卵場を提供します。

文名詞密度の分布 (岩田2020を基に作成)



学校の教科書の分析（岩田2022）



参考文献

新井紀子(2018)『AI vs 教科書が読めない子どもたち』東洋経済新報社

岩田一成(2016)『読み手に伝わる公用文』(大修館書店)

岩田一成(2020)「文章の難易度測定方法に関する研究—「やさきにちチェック」の「硬さ」について—」『京都語文』第28号, 佛教大学国語国文学会, 23-37

岩田一成(2022)「教育現場における「やさしい日本語」の可能性—子どもたちにとって難しい科目は何か」『越境者との共存を問い直す』ひつじ書房, 131-151

岩田一成(2022予定A)『自治体職員のための「新しい公用文」作成の基礎「やさしい日本語」でわかりやすく文章を書くために』日本加除出版

岩田一成(2022予定B)「行政におけることばの問題」『「日本人の日本語」の問題を考える(仮称)』丸善出版